

枝肉重量を増やせ!

CASE STUDY

和牛雌牛の枝肉成績

和牛雌牛は去勢牛よりも脂肪がつきやすく、また枝肉重量が小さいことから、一般的に枝肉成績を上げることが難しい(表1)。特に枝肉重量は全国平均で400kg程度にとどまっており、この重量を増やすことが雌牛肥育の最大のポイントとなる。

試験農場の概要と肥育試験の取り組み

当農場および同じ銘柄和牛を生産しているほかの農場でも、生産費を低減するため、雌牛の導入比率が半数近くまで増加している。部会の雌牛の枝肉成績は上物率が5割を超えるが、一方で枝肉重量は平均405kgと小さく、改善の余地がある。こうした背景からJAグループとして枝肉重量改善を目的とした肥育試験を設定し、取り組み始めた。

肥育試験の内容

当試験農場はもともと去勢牛の肥育が主体であったことから、農場における飼料の給与体系も去勢

牛中心のものであった。そのため雌牛も同様に、導入後の肥育前半から配合飼料を一気に増給していく体系で管理していた。

そこで今回の試験における給与体系(表2)では、導入する雌牛が主に沖縄からのもので、250kg以下の比較的安価な素牛であることを考慮し、導入後半年間(肥育前期)は配合飼料の給与を一定レベルにとどめ、従来よりも粗飼料を多く食いつませるよう努めた。なお「一定レベル」とは、2008年日本飼養標準(肉牛)の「TDN充足率100%程度」「CP充足率130%程度」を目安とし、余分な脂肪をつけず、粗飼料給与量とCP充足率を高めることでフレーム作りを徹底することとした。

その後、肥育中期からはスムーズに配合飼料を増給させ、1日1頭あたり9~10kgの摂取量を出荷時まで安定的に維持させた。

なおビタミンAコントロールは、肥育開始時から稲わら主体で給与したことで、去勢牛より厳しい制限となり、結果として想定どおりのビタミンAコントロールを実現することができた(図1)。

肥育試験の結果

現在試験牛の出荷が始まっているが、出荷月齢が約29カ月齢と変わらないなかで、従来と比較しても肉質を落とすことなく、枝肉重量を改善することに成功している(図2)。農場主からも「肥育前半には見た目こそ物足りない感じがしたが、十分なフレームを作ってから肉を乗せていく作業が重要であることが理解できた」と、今回の試験に対する

子牛市場が高騰を続けるなか、子牛の値段が去勢牛より安価な雌牛を導入し、肥育をかける農場が増えている。今回は、肥育試験を設定し、子牛導入後の肥育前半のフレーム作りを重視することで「枝重改善」を少しずつ実現している農場の取り組み事例を紹介する。

所在地：九州地方
飼養頭数：和牛(去勢雌合わせて)750頭
従業員数：5名



フレーム作りの徹底により十分肉付きした雌牛



肥育前期の粗飼料食わせ込み

一定の評価をいただくことができた。今後もこの試験結果を参考に、銘柄和牛の部会全体で安定した雌牛の出荷成績を残すことを目標としている。

表1.和牛の枝肉成績推移(全国)

年度	出荷月齢(月)		枝肉重量(kg)		上物率(%)	
	去勢牛	雌牛	去勢牛	雌牛	去勢牛	雌牛
2010	29.0	29.9	475	395	57.9	41.7
2011	29.0	29.8	477	400	58.9	43.7
2012	29.0	29.7	478	402	63.0	44.1

表2.肥育試験の給与体系

肥育ステージ	肥育月齢(月)	肥育前期						肥育中期						肥育後期						通算 20カ月肥育					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		19	20			
濃厚飼料	肥育前期 飼料	2.5	3.0	3.5	4.5	5.5	3.5	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	775
	肥育中期 飼料	-	-	-	-	-	3.0	5.5	9.0	9.5	9.5	10.0	6.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,718
	肥育後期 飼料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	6.0	10.0	9.5	9.5	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	2,280	
大豆粕		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91	
	合計	3.0	3.5	4.0	5.0	6.0	7.0	8.5	9.0	9.5	9.5	10.0	10.0	10.0	10.0	9.5	9.5	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	4,590		
粗飼料	ハイキューブ	0.5	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	
	稲わら	2.5	2.5	2.5	2.5	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	845	
合計		3.0	3.0	3.0	2.5	2.5	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	891		

図1.採血結果

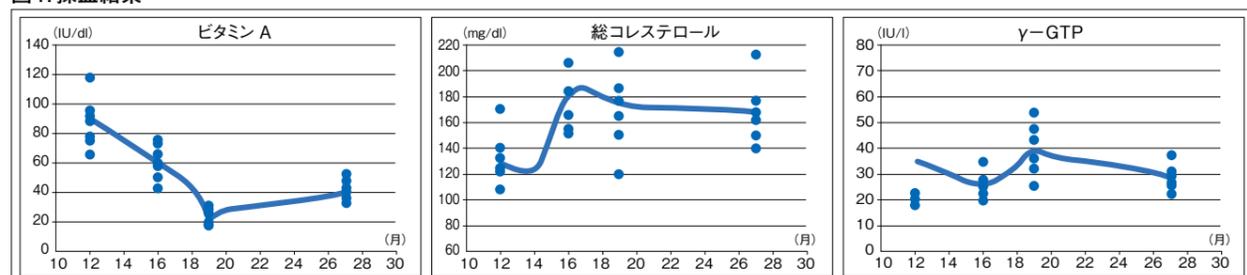
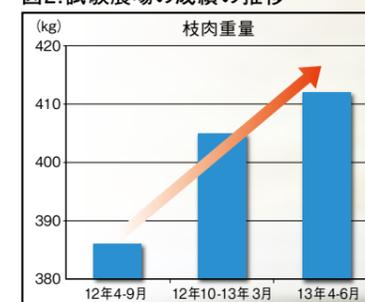


図2.試験農場の成績の推移



試験牛は、20kg以上の枝重改善を実現

